

令和7年度修士課程及び専門職学位課程進学予定者に係る 特に優れた業績による返還免除内定候補者 申請案内

本制度の概要

返還免除内定候補者になると、修士課程及び専門職学位課程（以下「修士課程等」という。）において貸与を受けた第一種奨学金の全額又は半額が免除される可能性があります。元々、修士課程等にも第一種奨学金の返還免除制度は存在しますが、本制度は入学時点でその権利を得ることができるというものになります。ただし、全額なのか半額なのかは貸与中の業績により修了時に決定します。詳細は本ファイルの4ページを確認してください。

本年度の推薦枠

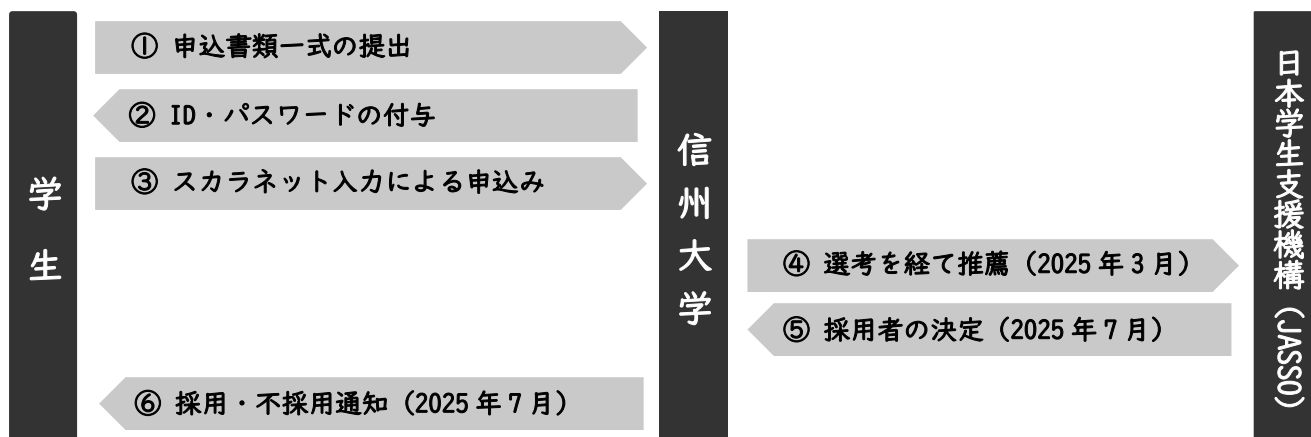
修士課程	「科学技術イノベーション創出に寄与する分野（情報・AI、量子、マテリアル等）」 7名 「大学の強みや地域の強み等を生かした分野」 5名
専門職学位課程 （教育学研究科高度教職実践専攻）	募集なし（今年度は本制度の推薦枠はありません）

本制度の対象者

令和7年度に修士課程へ進学し、第一種奨学金（授業料後払い制度を含む）の貸与を受ける予定で、以下のいずれも該当する者。（留学生除く。外国籍の学生の場合は「法定特別永住者」、「永住者」、「定住者」等のみが対象）

- ◆ 学部において日本学生支援機構給付奨学金を利用していること（資産理由、自己都合の停止は可、所得理由の停止は不可）又は住民税非課税世帯（本人及び生計維持者の市町村民税所得割額が0円）であること。
- ◆ 「科学技術イノベーション創出に寄与する分野（情報・AI、量子、マテリアル等）」又は「大学の強みや地域の強み等を生かした分野」への進学を希望していること。
- ◆ 将来、上記分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な能力を備えて活動することができると認められること。

申込から採用までの流れ



受付期間（上記図①、③）

◆ 期間内に申込書類の提出及びスカラネット入力を行わなかった場合、申込みは無効です。

① 申込書類一式の提出	2024年10月15日（火）～10月21日（月） 9時～17時【厳守】
-------------	--

▼（受付後）

③ スカラネット入力による申込み （本ファイル6～7ページの下書き用紙を参考に）	2024年10月15日（火）～10月22日（火） 23時まで【厳守】
---	---

書類の提出について

以下の書類 1～3 を上記受付期間内に下記提出先へ提出してください。

1	確認書 ・本ファイル5ページを使用してください。
2	本人及び生計維持者の令和6年度所得・課税証明書 ・確認書の「確認3」において「父母2名」を選択した場合 ⇒本人及び父母の令和6年度所得・課税証明書（3名分） 確認書の「確認3」において「ひとり親世帯」を選択した場合 ⇒本人及び父又は母の令和6年度所得・課税証明書（2名分） 確認書の「確認3」において「本人又は父母以外が生計維持者」を選択した場合 ⇒事前に相談してください ・所得金額、課税額、控除が記載された、記載省略のない証明書（全項目証明）を市区町村の役場に申請して、入手してください。原則、令和6年1月1日現在で住民票登録のあった市町村で発行されます。 ・所得がない場合であっても、非課税証明書等の名称で発行されますので、必ず提出してください。
3	申請書（手書き不可）  ※大学所定用紙 ・本様式は Word 版をダウンロードし、入力後印刷してください。

提出先

キャンパス	提出先（問い合わせ先）
松本キャンパス	学生総合支援センター TEL 0263-37-2199
長野（工学）キャンパス	工学部学務係奨学金窓口 （TELでの問い合わせは上記へ）
長野（教育）キャンパス	教育学部学務係奨学金窓口 （ " ）
伊那キャンパス	農学部学務係奨学金窓口 （ " ）
上田キャンパス	繊維学部学務係奨学金窓口 （ " ）

※学外の方は以下へ郵送してください。

〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 信州大学学生総合支援センター経済支援 G 宛

注意事項

- ◆ **修士課程等において貸与を受けた第一種奨学金（授業料後払い制度を含む）が返還免除対象となり、本制度への申請とは別に第一種奨学金（授業料後払い制度を含む）の申請を行う必要があります。**（本制度に申請したことで自動的に第一種奨学金（授業料後払い制度を含む）に申請したことにはなりません）予約採用あるいは修士課程等進学後の在学採用で、第一種奨学金（授業料後払い制度を含む）を申請してください。ただし、本学では予約採用の採用者を優先して推薦する予定です。
- ◆ 返還免除内定候補者として採用されたことをもって、返還免除が確定するわけではありません。**貸与終了時に改めて「特に優れた業績による返還免除」への申請が必要です。**
- ◆ 返還免除内定候補者に採用された場合は中間評価があり内定者として相応しい成績を挙げているかどうか確認します。学業成績不振などにより、内定を取り消される場合があります。
- ◆ 今回の返還免除内定候補者に採用されなかったとしても、貸与終了時の「特に優れた業績による返還免除」に申請することは可能です。今回は35%の枠のうち、5%分の枠を決定するだけですので、「特に優れた業績による返還免除」の対象となるチャンスがなくなるわけではありません。
- ◆ 修士課程等において利用した「授業料後払い制度」で受けた奨学金に対しても、第一種奨学金同様に返還免除を受けることができます。但し、授業料後払い制度と第一種奨学金の併用はできません。また、国立大学の場合、貸与総額は第一種奨学金を利用した方が多くすることができ、有利な場合があります。授業料後払い制度についての詳細は学生総合支援センターHP等でご確認ください。

修士課程・専門職学位課程に進学予定で、
第一種奨学金(授業料後払い制度を含む)の貸与を希望する方へ
特に優れた業績による返還免除内定制度のご案内

特に優れた業績による返還免除制度とは…

大学院で第一種奨学金の貸与を受けた学生のうち、貸与期間中に特に優れた業績を挙げた者として日本学生支援機構が認定した場合に、**奨学金の全額または半額を返還免除する制度**です。学問分野での顕著な成果や発明・発見のほか、専攻分野に関する文化・芸術・スポーツにおけるめざましい活躍、ボランティア等での顕著な社会貢献等も含めて評価し、学生の学修へのインセンティブ向上を目的としています。
奨学金の貸与終了時に、進学予定先の大学院へ申請し、大学から本機構へ推薦される必要があります。

返還免除内定制度とは…

貸与終了時に認定する特に優れた業績による返還免除を、**修士課程・専門職学位課程に進学する前に内定する制度**です。進学を予定している大学院を通じて、修士課程等へ**進学する前年度に申請**します。なお、本制度の対象とならない大学もあるため、大学に申請可能であるか確認してください。

(参考) 2023年度進学者の内定者

修士課程：150大学1,139人 専門職学位課程：25大学53人

対象要件

以下の全てを満たす必要があります。

- ① 大学学部等において**修学支援新制度**を利用していること 又は **非課税世帯**であること
- ② **科学技術イノベーション創出に寄与する分野(情報・AI、量子、マテリアル等)** 又は **大学の強みや地域の強み等を生かした分野**への進学を希望していること
- ③ 将来上記②の分野における**研究能力又は高度の専門性を要する職業等**に必要な高度の能力を**備えて活動**することができると認められること

選考方法

上記の「対象要件」を満たしていることを大学院において確認したうえで、**大学院入試の成績**やこれに代わる**大学学部の成績等**をもとに、文部科学省令で定める各業績について十分な成果を挙げる見込みがある者として、総合的に評価し選考されます。

中間評価

内定者となった場合は **年に1回中間評価**があり **内定者として相応しい成績を挙げているかどうか確認**します(学業成績不振などにより、内定を取り消される場合があります)。

第一種奨学金の申込みは 別途手続きが必要です
内定制度の申請をただけでは 第一種奨学金は受けられません

詳しい情報はこちら

日本学生支援機構ホームページ

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/index.html>

◆◆◆詳細は 進学予定の大学院にお問い合わせください◆◆◆



学籍番号		氏名		携帯電話	
------	--	----	--	------	--

□ 信州大学の修士課程に進学します。	対象者
□ 信州大学の専門職学位課程（教育学研究科高度教職実践専攻）に進学します。 →今年度の募集において信州大学の専門職学位課程に推薦枠はありません。	対象外
□ 信州大学以外（他大学）の修士課程等に進学します。 →進学先の大学に申請方法等について確認してください。	

☐ 第Ⅰ区分 ☐ 第Ⅱ区分 ☐ 第Ⅲ区分 ☐ 第Ⅳ区分	☐ 停止中（資産理由、自己都合） ☐ 現在申請中（不採用の場合は対象外です）	対象者
☐ 停止中（所得理由） ☐ 日本学生支援機構給付奨学生ではない	☐ 本人・生計維持者の市町村民税 所得割額が非課税(0円) ☐ 本人・生計維持者の市町村民税 所得割額が非課税(0円)ではない	

- | | |
|---|---|
| ☐ 父母2名 | |
| ☐ ひとり親世帯等 | ☐ 父又は母と死別した |
| | ☐ 父母の離婚等により、父母いずれかと本人は別生計
※「離婚等」には、離婚調停中、DVによる別居中、又は未婚の場合なども含みます。 |
| | ☐ 父又は母が、生死不明、意識不明、精神疾患のため、意思疎通ができない |
| ☐ 本人又は父母以外が生計維持者 | ☐ 両親と死別した |
| | ☐ 両親が、生死不明、意識不明、精神疾患のため、意思疎通ができない |
| | ☐ 本人が結婚しており、両親ではなく、本人自身もしくは配偶者が家計を支えている |

- 

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/kakei/seikei_izisha.html

『大学使用欄』（学生は記入しない）

受付日		対応者	
不足	なし あり（期限 ） 確認書 所得・課税（本 父 母）		

	a	b
本人		
生計維持者1		
生計維持者2		

①
②
読

2025年度進学予定者に係る特に優れた業績による返還免除内定制度 スカラネット入力下書き用紙
(修士課程及び専門職学位課程用)

- ・進学予定先大学院が指定する申請期間内に申請してください。
 - ・この下書き用紙に記入し、間違いがないことを確認したうえで、以下のURLから日本学生支援機構のスカラネット用ホームページにアクセスして入力してください。
 - ・入力内容を確認し送信した後、申込完了画面で受付番号(在学採用申込みや進学届提出、問い合わせなどの際に必要となります)と入力した内容が表示されます。画面を印刷するなどして保管してください。
- ※送信した後に内容を訂正することはできません。

スカラネット用ホームページ

URL : <https://www.sas.jasso.go.jp/>

受付時間：8:00~25:00（最終締切日は8:00~24:00）

※受付時間を過ぎると画面が強制終了しますので、余裕をもって入力してください。

※入力中に1つの画面で30分を過ぎると自動的にタイムアウトとなり、最初からやり直しとなりますのでご注意ください。



受付番号×モ欄

こちらに受付番号をメモして保管してください。

					-	G	M	N	-					
--	--	--	--	--	---	---	---	---	---	--	--	--	--	--

← 入力完了後に表示される受付番号は
進学届入力時(4月)に必要です。
必ず保管してください。

[返還免除内定制度申込用ログイン](#)

進学予定大学院から配付される識別番号（ユーザIDとパスワード）を入力して、
下の「ログイン」ボタンを押してください。

(注) パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。

ユーザID

パスワード

- ・認証に3度失敗すると、「閉じる」ボタンを押して画面を閉じ、最初からやり直す必要があります。

誓約

入力上の注意：数字及び英字は半角、カタカナは全角で入力してください。

A-誓約欄

日本学生支援機構理事長 殿

返還免除の内定候補者への申請にあたり、正しく記入することを誓約します。

なお、当該課程において返還免除の内定を受けた後、奨学金の貸与開始後、貸与期間が終了する年度に返還免除候補者としての推薦を受けるまでの期間中に、貴機構が定める「廃止」、「停止」又は「警告」に該当するとき、修業年限内で課程を修了（学位を取得）できなくなったとき、文部科学省令第36条第1号～第10号で定める各業績について、十分な成果を挙げる見込みがなくなったと認められたとき、又は、貸与期間終了時における業績優秀者返還免除の申請をしなかったときは、返還免除の内定が取り消されることに同意します。

誓約目

令和 年 月 日

氏名（全角漢字）

姓 (5文字以内) 名 (5文字以内)

氏名 (全角力ナ)

姓 (15文字以内) 名 (15文字以内)

生年月日（和暦）

半角数字
[] 年 [] 月 [] 日生

※誓約日は以後訂正することができません。

誓約日はスカラネット入力日として
ください。

・外字は使用しないでください。
(例) 吉→吉、高→高

- ・氏名が長い場合は入るところまで入力してください。
- ・「スペース」は入力しないでください（ミドルネームは名とつなげて入力してください）。

・元号を選択してください。
選択肢：平成/昭和

進学予定先情報・在学情報

Bーあなたの進学予定先情報・在学情報

1. 進学予定先大学院

(1) あなたの進学予定先大学院名は 学生支援大学 ですね。

☐ はい ☐ いいえ

(2) あなたの進学予定先課程を選択してください。

(3) あなたの進学予定先研究科を選択してください。

(4) あなたの入学予定年月を記入してください。

西暦（4桁） 2025 年 4 月 入学予定

(5) あなたの修了（見込）予定年月を記入してください。

西暦（4桁） 年 3 月 修了（見込）予定

(6) あなたの大学院進学目的と研究計画を記入してください。（全角400字以内）

2. 在学している（在学していた）学校

(1) あなたが在学している（在学していた）学校を選択してください。

(2) あなたは専攻科（上級学科）に在学しています（在学していました）か。

☐ 専攻科（上級学科） ☐ いいえ

(3) あなたが在学している（在学していた）学校名の読みの先頭1文字を選択してください。

あなたが在学している（在学していた）学校名を選択してください。

(4) あなたが在学している（在学していた）学校の学籍（学生証）番号を記入してください。

半角英数字記号

(5) あなたが在学している（在学していた）学部（科）・研究科を選択してください。

(6) あなたが在学している（在学していた）学校に入学した年月を記入してください。

西暦（4桁） 年 月

(7) あなたが在学している（在学していた）学校の卒業（予定）年月を記入してください。

西暦（4桁） 年 月 卒業（予定）

(8) あなたは現在給付奨学金を受給していますか。

(8) 二次採用で給付申請中、給付奨学金の受給が終了または廃止となっている方は「いいえ」を選択

☐ はい ☐ いいえ

「はい」と答えた人は、給付奨学生番号を入力してください。

給付奨学生番号 (例：52104999999)

(9) あなたは住民税非課税世帯（市区町村民税の所得割額が「0円」）ですか。

または、修学支援新制度の授業料減免のみを利用していますか。

(9) 二次採用で給付申請中、給付奨学金の受給が終了または廃止となっている方は「いいえ」を選択

☐ はい ☐ いいえ

※送信前に再度入力内容に間違いがないか確認してください。
※入力完了後に表示される受付番号は、表面の「受付番号メモ欄」に転記してください。

・大学院名が正しく表示されているか確認してください。

・課程を選択してください。
・本制度対象外の課程を選択すると次の画面に進めません。再度対象者の要件を確認して下さい。
選択肢：修士・博士前期/専門職大学院(法科大学院)/専門職大学院(法科を除く)/一貫制博士/博士後期/博士医・歯・獣医・薬学(6年制学部卒)

・学部（科）・研究科を選択してください。

・左記の年月と異なる場合は変更してください。

・数式・記号含め全角文字で入力してください。

・学校を選択してください。
選択肢：大学/短期大学/高等専門学校/専修学校(専門課程)/その他
・海外の大学に在学している（在学していた）方は「その他」を選択してください。

・先頭1文字を選択してください。

・学校名を選択してください。

・半角英数字や半角ハイフン(-)以外の文字が使われている場合、学校の指示に従ってください。

・学部（科）・研究科を選択してください。
・選択肢として、上記(3)に入力した学校の学部（科）・研究科が表示されます。

2.(8)、2.(9)でどちらも「いいえ」となる方は対象外です。対象要件を確認して下さい。

・上3桁、中2桁、下6桁に分けて記入してください。

・上の質問で「はい」を選択すると活性化します。
選択肢：01/02/04/08/09

(注) 給付奨学生は非課税世帯・授業料減免利用者であっても「いいえ」を選択してください

※申請書はword版をダウンロードし、入力後印刷してください。

修士課程等における日本学生支援機構奨学金の返還免除内定候補者 申請書

学籍番号		氏名		整理番号	(学生入力不要)
------	--	----	--	------	----------

1 進学予定の修士課程等が該当する方に「○」を入力してください。両方に該当する場合も、自身がより該当すると思う方を選択してください。	
	科学技術イノベーション創出に寄与する分野（情報・A I、量子、マテリアル等）
	大学の強みや地域の強み等を生かした分野

令和3年4月1日に施行された「科学技術・イノベーション基本法」において、これまで科学技術の規定から除外されていた人文・社会科学の分野も、同法の改正により科学技術の範囲に位置付けられており、情報・A I、量子、マテリアル等の分野と連携しているような分野であれば、人文・社会科学の分野であっても「科学技術イノベーション創出に寄与する分野（情報・A I、量子、マテリアル等）」を選択することができます。

(参考) 科学技術・イノベーション基本法 第3条第2項

科学技術・イノベーション創出の振興に当たっては、広範な分野における各分野の特性を踏まえた均衡のとれた研究開発能力の涵かん養、学際的又は総合的な研究開発の推進、基礎研究、応用研究及び開発研究の調和のとれた発展、学術研究及び学術研究以外の研究の均衡のとれた推進並びに国の試験研究機関、研究開発法人、大学等、民間事業者その他の関係者の国内外にわたる有機的な連携について配慮されなければならない。また、自然科学と人文科学との相互の関わり合いが科学技術の進歩及びイノベーションの創出にとって重要であることに鑑み、両者の調和のとれた発展について留意されなければならない。

2 ～ 4の審査の観点は以下のとおりです。参考にしてください。

入力内容	審査の観点
2 学士課程（学部）の学習・研究活動において努力したこと、成し遂げたこと	・内容が具体的で明確であるか ・学士課程（学部）の学習・研究活動において努力したこと、成し遂げたことが優れているか
3 修士課程入学後のビジョン（学びを希望する理由・研究計画・学業以外）	・学びを希望する理由が具体的で明確であるか ・研究計画が具体的で明確であるか、また優れているか ・学業以外のビジョンが具体的で明確であるか
4 修士課程修了後のキャリアイメージ及び大学院で学んだことをどのように社会に還元していきたいか	・大学院修了後のキャリアが具体的にイメージできているか ・大学院修了後のキャリアイメージが修士課程において学びを希望する理由や研究計画等との整合性があるか ・学んだことを社会に還元することが具体的にイメージできているか

2 学士課程（学部）の学習・研究活動において努力したこと、成し遂げたことを 1000 字程度で記載してください。

なお、論文掲載や学会発表等の業績がある場合には次ページ「業績一覧」に当該業績を記載するとともに、その概要等を示す資料を提出してください。

※必ず 1 ページに収まるように作成し、フォントは変更しないでください。

※1 ページに収まるのであれば図表を挿入しても構いません。

※この文章は作成時、削除してください。

業績一覧表

項目	業績	資料 No.
研究論文 学会発表		No. 1
研究論文 学会発表		No.2
研究論文 学会発表		No.3
研究論文 学会発表		No.4
研究論文 学会発表		No.5

【業績一覧表 作成方法】

- ・ 以下、記入例に従い作成してください

記入例	業績	資料 No.
研究論文	① <u>本人氏名</u> 、共著者名、②論文名、③学術雑誌名（該当頁）、④発行日（西暦） ※「本人氏名」にアンダーラインを付してください。 ※論文作成に最も貢献した者である場合にはその旨を記載してください。	No.X
学会発表	① <u>本人氏名</u> 、共同発表者名、②題目 ③会議名、④主催者名、⑤発表日（西暦）、⑥ ポスター賞受賞等 ※「本人氏名」にアンダーラインを付してください。 ※学会発表に最も貢献した者である場合にはその旨を記載してください。	No.X

- ・ 提出する根拠資料の 右上 に 業績一覧表の右端に記載の「資料 No.」を記載してください。
- ・ 提出する根拠資料が複数ある場合、「資料 No.」ごとに PDF にするのではなく、すべてまとめて一つの PDF にしてください。その際、「資料 No.」順に並ぶようにしてください。
- ・ 「研究論文」の根拠資料は論文全体のコピーではなく、論文の概要が確認できるものを提出してください。ただし、「著者名」、「論文名」、「学術雑誌名」が確認できるものとしてください。
- ・ 「学会発表」の根拠資料は発表内容全体のコピーではなく、発表内容の概要が確認できるものを提出してください。ただし、「発表者名」、「発表題目」、「会議名」が確認できるものとしてください。
- ・ 自身が「共著者」、「共同発表者」であるものを含めて構いません。
- ・ 研究論文／学会発表以外の内容を記載したい場合は「研究論文／学会発表」を適宜修正してください。
- ・ 上表に入りきらない場合はこの【業績一覧表 作成方法】を削除して構いません。

3 修士課程入学後のビジョン（学びを希望する理由・研究計画・学業以外等）を 1000 字程度で記載してください。

※必ず 1 ページに収まるように作成し、フォントは変更しないでください。

※1 ページに収まるのであれば図表を挿入しても構いません。

※この文章は作成時、削除してください。

4 修士課程修了後のキャリアイメージ及び大学院で学んだことをどのように社会に還元していきたいかを 500 字程度で記載してください。

※必ず 1 ページに収まるように作成し、フォントは変更しないでください。

※1 ページに収まるのであれば図表を挿入しても構いません。

※この文章は作成時、削除してください。